

## 日本鉄鋼協会記事

### 理事会

第6回理事会 開催日：12月16日。出席者：八木会長，ほか35名。

#### 1. 澤村論文賞（仮称）設置の件

(1)内容 「ISIJ International」に掲載された前1か年の論文で学術上、技術上最も有益な論文を寄稿した者に授与する。俵論文賞は「鉄と鋼」のみ対象。

(2)件数 毎年3以上（俵論文賞は従前どおり毎年5以上）

(3)授賞時期 本会秋季講演大会時（俵論文賞も同時期にする）

(4)実施同期 昭和65年度より

上期の内容を盛りこんだ表彰規程の改訂を編集委員会で検討した結果の報告があり了承された。表彰規程の改訂は来年2月の評議員会に諮る。

2. 旧陸海軍鉄鋼技術調査委員会設置について  
旧陸海軍鉄鋼技術分野の明治年間から昭和20年の期間における資料を探索・確認の上整理保存して鉄鋼技術史研究に資することを目的とした標記委員会の設置を決定した。

### 企画委員会

第5回企画委員会 開催日：12月12日。出席者：竹内委員長，ほか20名。

#### 1. ISO/TC 17 総会（オスロ）報告

開催日 1988年10月10～14日

出席者 P-member 11か国，ISO中央事務局他主要成果

(1)TC 17が今後国際規格化すべき課題の事前調査 Sub-Committee ごとに将来課題とその作業開始時期を事前に決定し，計画的な規格作成を行う。

(2)ISO規格の定期見直し方式の再検討  
ISO規格と国際規格との整合性につき信頼できるデータを得るために定期見直しの再検討を進める。

(3)ISOと地域標準化との関係

とくにECにおける，欧州統一規格の動きとISOの関係につき意見交換，基本的にはISO規格尊重で一致している。

### 編集委員会

第9回和文会誌分科会 開催日：12月2日。出席者：佐野主査，ほか25名。

1. 18件の論文審査報告がなされ，掲載決定7件，照会后掲載可8件，その他3件であった。

2. 「鉄と鋼」第75年第4号（4月号）に論文11件，技術報告2件掲載決定した。

第9回欧文会誌分科会 開催日：12月20日。出席者：鈴木委員長，ほか12名。

1. 14件の原稿につき報告がなされ，掲載可3件，修正依頼9件，返却2件であった。

2. 「ISIJ International」, Vol. 29, No. 4に Review 1件，Regular Article 9件，Communication 2件の掲載を決定した。

### 共同研究会

#### 鋼板部会

第66回厚板分科会 開催日：11月17～18日。開催地：新日鉄・君津，出席者：柳澤部会長，ほか95名。

##### 1. 工場操業状況報告

##### 2. グループ別討議

スタッフグループ「最近の需要家要求への対応状況」。  
作業長グループ「作業長のあるべき姿について」。

##### 3. 工場見学

新日本製鉄(株)君津製鉄所・厚板工場

#### 第66回条鋼部会

線材分科会 開催日：10月17～18日。開催地：トースチール・仙台。

##### 1. 工場操業状況：（昭和63年4～6月）

2. テーマ研究報告：「ロール管理及び原単位向上対策」

##### 3. 自由研究報告

報告件数：13件

4. 作業長テーマ研究：「要員合理化を進めるうえでの安全対策」

5. 工場見学：トースチール(株)：仙台製造所線材工場・棒鋼工場

第63回鉄鋼分析部会 開催日：11月18日。開催地：山陽特殊製鋼・姫路。出席者：佐伯部会長，ほか97名。

#### 1. 議事

(1)化学分析分科会経過報告

(2)機器分析分科会経過報告

(3)表面分析小委員会経過報告

(4)析出物分析小委員会経過報告

(5)ISO/TC 102/SC 2 日本委員会経過報告

(6)ISO/TC 146, TC 147 活動状況

#### 2. 工場見学

山陽特殊製鋼(株)姫路工場

第8回機器分析分科会 開催日：11月17日。開催地：山陽特殊製鋼・姫路。出席者：真鍋主査，ほか45名。

#### 1. 議事

(1)機器分析分科会，W.G活動について

(2)鉄鉱石の蛍光X線分析方法の規格改訂WGの活動状況

#### 2. 研究発表

- (1)微量Cの発光分光分析法の精度向上について
- (2)高炉スラグのけい光X線分析法の検討
- (3)蛍光X線によるTi合金の分析の実状

第3回析出物分析小委員会 開催日:11月17日. 開催地:山陽特殊鋼・姫路. 出席者:松村委員長,ほか8名.

1. 研究発表
  - (1)共同実験用試料中の析出相の解析結果について
  - (2) $\sigma$ 相の抽出分離定量法に関する研究
2. その他
  - (1)共同実験用試料について
  - (2)予備実験要領

第59回品質管理部会 開催日:12月1~2日. 開催地:川鉄・水島. 出席者:野寄部会長,ほか96名.

1. 共通議題  
「自動車・家電用鋼材の表面品質保証の現状と問題点」
  - (1)アンケートまとめ報告
  - (2)事例発表 14件
2. 機械試験小委員会報告
3. 特別報告
  - (1)「鉄鋼生産の品質保証基準」作成WG報告
  - (2)高効率インライン大幅圧下(HARP)技術の確立

立

4. 工場見学  
川崎製鉄(株)水島製鉄所・冷延工場及び鋼片工場

### 高級ラインパイプ研究会

第68回 HIC 分科会 開催日:11月30日. 出席者:飯野主査,ほか8名.

1. SSC 試験結果について
2. 応力下特性評価試験結果について
3. 試験片の観察計画

### 鉄鋼基礎共同研究会

第7回 界面移動現象部会 開催日:11月29日. 出席者:徳田部会長,ほか24名.

1. サブグループ活動報告 5件  
容量係数,測定,泡立ち,マランゴニ,二次燃焼の各グループ
2. 研究報告 5件
3. その他
  - (1)来年度研究計画の決定
  - (2)シンポジウムスケジュールの検討  
昭和64年3月22~23日  
(於:神田学士会館にて開催する.)

### 講習会 Talk 制御理論

新たな制御理論の枠組みの構築を目指して(1)

1. 主催:計測自動制御学会 制御理論部会
2. 協賛:日本鉄鋼協会
3. 日時:平成元年4月3日(月) 10:30~24:00  
4月4日(火) 9:00~15:00
4. 開催場所:  
油壺マリーナホテル(三浦半島突端,神奈川県三浦市三崎町諸磯) TEL. 0468-2000
5. メインテーマ:  
制御理論…過去・現在・未来:モデルマッチング  
制御:ロバスト制御:ファジー制御:ルールベース制御:適応制御:ロボット制御(ニューラルネット):H $\infty$ 制御:デジタル制御の特徴と適用範囲.
6. 参加費(参加費,宿泊,食事,懇親会費を含む):  
コースA:4月2日(日)の素泊まりと3日の朝食付 一人3万5千円  
コースB:4月3日(月)より参加 一人3万円
7. 参加者:先着50名
8. 問合せ先:〒113 東京都文京区本郷一丁目35番28号-303  
社団法人 計測自動制御学会  
電話(03)814-4121(代)  
ファクシミリ(03)814-4699

### 第77回腐食防食シンポジウム

「腐食防食のためのデータベースシステム」

1. 主催:腐食防食協会
2. 協賛:日本鉄鋼協会他
3. 日時:1989年3月14日(火) 10:00~16:30
4. 場所:新橋 蔵前工業会館 会議室(港区新橋)
5. プログラム:  
腐食防食のデータベースの現状:化学ポテンシャル図の自動作図:溶液内平行図の簡易作成法:腐食データ処理のためのファクトデータベースシステム:高温水腐食のデータベース:地熱用材料の腐食データベース:腐食防食におけるエキスパートシステムの応用.
6. 参加費:協賛学会会員……………4,000円
7. 申込先:〒110 東京都台東区東上野6-23-5 第二雨宮ビル  
(社)腐食防食協会 シンポジウム係

### Technology Japan 89

1. 主催:日本工業新聞社
2. 協賛:日本鉄鋼協会他
3. 会期:1989年4月11日(火)~14日(金)
4. 会場:晴海・東京国際貿易センター
5. 展示内容:生産ネットワーク部門,先端技術研究開発部門